令和4年度 保育所の自己評価について

社会福祉法人和会 中央保育園 園長 樋口小夜

平成 28 (2016) 年には、児童福祉法が大きく改正され、すべての子どもが、福祉が等しく保障される権利の主体であること基本理念として、改めて明記しました(第 1 条)。そして、国民は、子どもが良好な環境のなかで生まれ、社会のあらゆる分野において、年齢や発達の程度に応じて、その意見が尊重されるなど、子どもが心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならないとしています(第 2 条第 1 項)。そのうえで、国や地方自治体は、保護者とともに子どもの心身の健やかな育成に責任を負うとしています。(第 2 条第 3 項)保育士は子どもの育ちを支え、保護者の子育てを支え、子どもと子育てにやさしい社会をつくる重要な役割です。保育の質の向上をはかり、保育士の専門性の確立をめざすため、自分たちの保育園を振り返ってみました。

<保育士の評価ポイント>

- 1. 保育士が、保育をするときにとる姿勢や行動、現状認識や判断・考えについて答える。 その年齢クラスを担当していなかったり、コロナ禍でその活動は控えている場合や、本園で は該当しない場面でも、自分だったらどうするかを考えて回答している。
- 2. 設問に、○ (はい・できている) × (いいえ・できていない) で答え、どちらとも判断できないときは \triangle (どちらともいえない) となる。できるだけ \bigcirc か×で答え、回答なし(無記入)はしない。
- 3. 設問どおりに実施していれば○(望ましい保育をしている、充実した保育をしている)、 実践していなければ×(望ましい保育ができてない、保育観を見直す必要がある)となるが、 保育が全面的に否定されるということではなく、よりよいものにつなげていく。

以上のポイントを踏まえて、園長が総合的に評価をしています。チェックリストに回答して、自分の保育を振り返り、もう一度見直すことに意義があり、アセスメント(客観的な評価)の役割を持ちます。このチェックリストと向き合い、「なぜ」こういうチェック項目があるかを立ち止まって考えること、そして、自分が今まで見過ごしていたことに「気づく」機会となると考えます。

- ・保育士はすべての子どもについて、存在や人権を尊重するべきであると考えて保育しています。子どもの命を守り、安全や衛生に気を配っています。
- ・保育所は保育指針に基づいて、その理念を理解して保育内容に役立てることとなっています。とはいえ、保育指針をもとに作成された保育計画プランモデルを参考に週、月単位で保育計画を立てています。
- ・子どもたちが過ごす家庭や環境によって、考え方も様々であることを理解し、それを尊重するように心がけています。性差や個人差に配慮しながら保育をするように保育士、調理員も気を付けていると感じます。

2	保育の内容	評価
	(保育計画・指導計画・乳幼児保育)	0

< 0. 1. 2歳児>

- ・保育計画を立てるとき、個人の性格や個性を尊重しながら、個別計画を立てています。 集団生活の中で成長に個人差がでることもありますが、おおらかな気持でとらえるよう に心がけています。保護者の子どもへの思いを聞き取り、複数担任でも共通理解をもって 個別計画を進めることができると、よりよいものになると感じます。
- ・子どもと過ごすうえで、衛生面に気を配り、連絡帳で子どもの様子を把握し、睡眠時は チェック表を付け、子どもたちの健康に留意しています。
- ・言葉かけや配慮の仕方は、保育士それぞれですが、子どもの人権を守ることは常に念頭 に、もし保育士が間違った対応をしたときは、素直に子どもに謝る姿勢が大事だと思いま す。

<3・4・5歳児>

- ・コロナ禍でマスク生活の保育ですが、机の位置や活動の仕方を工夫し、子どもたちと衛生意識を持ちながら活動しています。身体的な制限のある場合や、食事、排泄などにもできるだけ個別配慮をし、園児が園生活が苦痛になったりしないよう心がけています。
- ・新園舎になりランチルームで一緒に食事をするようになりましたが、コロナ禍で、同じ 方向を向いて食べています。広々としたホールで、給食室も目の前で環境がよいので、感 染症の様子をみながら、ランチルームの特性を生かし、バイキング給食を取り入れてみた いと考えています。
- ・保護者を交えた行事は中止になることが多く、感染対策をした内容で行ったりしています。これを機に、行事内容を見直し、今の園スタイルに合った内容に精査していく作業が必要であると思います。

3 延長保育、一時預かり事業、地域子育て支援 評価

・15年前に比べると、延長保育は半分以下、一時預かりも頻度が減っております。働き方を保護者がうまくやりくりし、一時保育が必要だった子どもたちは、少子化や認定こども園さんの参入により、利用が少なくなったと思われます。一方で、里帰り出産で一時保育を期間的に利用する方はおられ、育児休暇などをうまく利用して子育てをされているのだと感じています。保育所機能の一つとして、利用者の期待を裏切らない、健全な保育を行いたいです。

 4
 保健活動、安全管理
 評価

 ○
 ○

- ・職員は健康診断を行い、ワクチン接種など本人の希望に沿って積極的に取り組んでいます。
- ・保護者に協力してもらい、3歳以上児はマスク着用。感染症の登園基準に基づき、園児の健康チェックをお願いしています。
- ・登園前体温計測、睡眠時チェックは全クラス行い、園児の体調変化に留意しています。
- ・今年度より、園外保育中の避難訓練を取り入れています。災害などは園の中だけでおこるものではなく、園外保育(散歩等)に発生することも想定され、実際に起こった教育施設等の事例を教訓に、園で取り組める訓練を行っていきます。一方で、避難訓練となると意識して身構えてしまい、有事の際に生かせる内容になっているか、避難訓練のたびに反省点がでるので、そこを共通理解することが必要です。
- 5 保護者、地域社会、関係機関との連携 評価 ○
- ・園での様子を保育士は良く伝え、話し合ってると感じます。実際に保育士の自己評価でも○が記入されています。ただ、保護者側がどう思っているか、個別で聞く機会は少なく、今後配慮する必要があると感じます。
- ・コロナ禍で、地域社会とのかかわりは少なくなりました。行事も中止が相次ぎ、保護者 同士が一同に集まって意見を交わす機会も減っています。地域を含めお互いを良く知り 合う場が少ないので、そこをどのように再開していくかが課題です。
- 6 保育園の職務、役割分担 評価 ○

・園長、副園長、主任保育士に対し、あるいは職員会議の場で、意見を述べたり質問をしたりできる職員もいれば、なかなか気軽に話ができないと思う職員もいるように感じます。それぞれに自分の意見を必ず持っているので、個別の意見に耳を傾け、保育園がもつ地域子育て支援機能を十分に生かせる職場環境を作ることが、一番の責務と考えています。

 \bigcirc

・研修や勉強の機会を作ることは業務中は難しいため、時間外や OFF-JT にて保育知識を深めることが多かったですが、令和3年度はほぼ研修はできなかった1年でした。令和4年度は8月頃までコロナ感染症の影響を多大に受けましたが、今後はキャリアアップ研修含め、オンライン研修を活用し、学ぶ機会を増やしていく必要があると思います。

8 保育園の職務、役割分担

評価



- ・園長、副園長、主任保育士に対し、あるいは職員会議の場で、意見を述べたり質問をしたりできる職員もいれば、なかなか気軽に話ができないと思う職員もいるように感じます。それぞれに自分の意見を必ず持っているので、個別の意見に耳を傾け、保育園がもつ地域子育て支援機能を十分に生かせる職場環境を作ることが、一番の責務と考えています。
- ・保育士も世代交代が進み、 $10\sim20$ 年前の保育内容と変わってきました。発表会の曲選びにしても、流行を保育に取り入れるケースが増え、それを子どもたちが良く知っていて、保育者と喜んで行っています。日本に伝わる良き行事や伝統を忘れず、新しい風を取り入れていくことは、これからの保育ニーズに必要なことなのだろうと感じます。実際、それを子どもたちが喜び、楽しい活動の一つとして取り組んでいることが、何よりの証明のような気がしています。

<これからの課題>

少子化、過疎化が進む中、新規園児の確保が課題の中、中央保育園は令和3年度に改築工事(新園舎建設)を行いました。クラス配置も見直し、5歳児(年長児)・4歳児(年中児)・3歳児(年少児)がのびのびと過ごせる環境と、0歳児・1~2歳児にとって危険の少ない、生活のしやすい園舎づくりを目指しました。改善点はありますが、清潔感のある良い園舎になったと思っています。

保護者が園を選ぶとき、園全体と保育士や調理員の雰囲気だと感じます。「あの先生は話しやすい」「安心して預けられる園だ」と思ってくださることが、今後も園選びの基準になると考えており、それは園児に接する保育士の本質で左右されます。保護者は園児を通して園の雰囲気を感じ取り、様々な思いを巡らせていることと思います。

保育所の評価をする中で、園舎という環境は整えることができたので、保育の質の向上を 図り、知識だけでなく人間性を高めることが、保育所としての役割を果たす重要なポイント になります。その心意気を忘れないようにします。